

九星気学の総合鑑定

あなたの星の性質と、12か月の運気の流れ・吉方位

こうじ 様

鑑定とアドバイス

星の性質と1年の流れを、とのお話でしたので、性質を先に、流れと方位をあとにまとめています。

こうじさんの本命星（四緑木星）は、2026年は艮宮（変わり目と見直し）、2027年は離宮（明るみと表現）に入ります。

月ごとでは、2027年3月が、本命星が中宮に入る月です。

◎の吉方位がある月は、2027年7月です。

あなたの星

お名前	こうじ
生年月日	1978年10月15日
本命星	四緑木星 （1978年・午年）
月命星	九紫火星（戌月生まれ）
傾斜	離宮
最大吉方の星	三碧木星
吉方の星	一白水星・九紫火星
凶となる星	五黄土星・四緑木星（本命殺）・二黒土星・六白金星・七赤金星・八白土星

本命星（四緑木星）から見た性質

四緑木星は、そよ風や、枝葉を広げて育った木にたとえられる星です。人当たりがやわらかく、誰とでも自然に打ち解けられる人が多いといわれます。風がさまざまな場所へ届くように、人の縁をつないだり、遠くの人とやり取りしたりするのが得意な傾向があります。物事を穏やかに整える力があり、周りから頼りにされやすいようです。気をつけたいのは、相手に合わせすぎて自分の考えが後回しになったり、迷って決めきれなかったりする点です。自分なりの基準をひとつ持っておくと、迷いが減りやすいかもしれません。

月命星（九紫火星）から見た内面

内面に九紫火星の性質をもつ人は、感受性が豊かで、美しいものや心を動かされるものに強く惹かれる傾向があるとされます。子どもの頃から感情表現が豊かで、ほめられるとぐんと伸びる面があったかもしれません。直感を大切にするタイプといわれます。

傾斜（離宮）

離宮傾斜は、離宮にもともと座る九紫火星の性質が表れやすいとされます。直感が鋭く、物事をすばやく見抜く傾向があります。美的センスや表現力があり、自分らしさを発揮しやすいといわれます。一方で、気分の波が大きかったり、見られ方を気にしすぎたりすることもあるようです。結果より過程を楽しむと、気持ちにゆとりが生まれやすいかもしれません。

年の運氣

九星気学では、その年の年盤で本命星がどの宮に入るか（同会）によって、運氣の流れや過ごし方の目安を見ます。

2026年（午年・2026年2月の立春から） 艮宮：変わり目と見直し

本命星が艮宮に入る時期は、山が土地の境目となるように、物事の変わり目にあたる時期とされます。仕事や住まい、人との関わりなどで、見直しや切り替えの機会が訪れやすいといわれます。変化は、これまでを整理して次へ進むためのきっかけと考えるとよいかもしれません。一方で、迷いが出やすく、判断が揺れやすい面もあるとされます。大きな決めごとは急がず、情報を集めて落ち着いて選ぶこと、身近な人に相談することを心がけると安心です。

2027年（未年・2027年2月の立春から） 離宮：明るみと表現

本命星が離宮に入る時期は、太陽が高く昇るように、物事が明るみに出やすい時期とされます。これまでの取り組みが周りから見えやすくなり、注目や評価を受ける場面が増える傾向があるといわれます。自分の考えを表現したり、学んだことを発表したりするのに向いているかもしれません。一方で、良いことも課題もはっきり見えやすく、気持ちが高ぶりやすい面もあるとされます。落ち着きを大切にし、区切りをつけたいことは丁寧に区切ると、気持ちよく次へ進みやすいかもしれません。

2028年（申年・2028年2月の立春から） 坎宮：準備と充電

本命星が坎宮に入る時期は、九つの宮をめぐる流れの中で冬にあたる、静かな時期とされます。目に見える動きは少なく感じられるかもしれませんが、土の中の種が春を待つように、次に向けて力をたくわえる時期です。ゆっくり休養をとる、学びたかったことに取り組む、信頼できる人との関係を深める、といった過ごし方が向いているといわれます。結果を急がず、準備と充電に時間を使うことを意識してみてください。

月ごとの流れと吉方位

月の欄は、その月の月盤で本命星が入る宮です。吉方位は◎（年盤・月盤とも最大吉方）と○（年盤・月盤とも吉方）だけを挙げています。

月	吉方取りの期間	月の運氣	吉方位
2026年11月 亥月	2026/11/8～12/6	坎宮：準備と充電	○ 西（酉） 岡山 117km・広島 253km
2026年12月 子月	2026/12/8～2027/1/4	坤宮：土台づくり	なし
2027年1月 丑月	2027/1/6～1/16	震宮：始まりと行動	なし
2027年2月 寅月	2027/2/5～3/5	巽宮：縁と信頼が広がる	なし
2027年3月 卯月	2027/3/7～4/4	中宮：内側を整える時期	なし
2027年4月 辰月	2027/4/6～4/16	乾宮：充実と責任	なし
2027年5月 巳月	2027/5/7～6/5	兌宮：実りと楽しみ	○ 西北西（戌） 姫路 48km・松江 213km
2027年6月 午月	2027/6/7～7/6	艮宮：変わり目と見直し	なし
2027年7月 未月	2027/7/8～7/19	離宮：明るみと表現	◎ 東北東（寅） 京都 63km・長野 348km ○ 西北西（戌） 姫路 48km・松江 213km ○ 北北西（亥） 鳥取 126km
2027年8月 申月	2027/8/9～9/7	坎宮：準備と充電	○ 西北西（戌） 姫路 48km・松江 213km ○ 北北西（亥） 鳥取 126km
2027年9月 酉月	2027/9/9～10/7	坤宮：土台づくり	なし
2027年10月 戌月	2027/10/9～10/20	震宮：始まりと行動	○ 東北東（寅） 京都 63km・長野 348km

月の運氣の読み方

坎宮：準備と充電

本命星が坎宮に入る時期は、九つの宮をめぐる流れの中で冬にあたる、静かな時期とされます。目に見える動きは少なく感じられるかもしれませんが、土の中の種が春を待つように、次に向けて力をたくわえる時期です。ゆっくり休養をとる、学びたかったことに取り組む、信頼できる人との関係を深める、といった過ごし方が向いているといわれます。結果を急がず、準備と充電に時間を使うことを意識してみてください。

坤宮：土台づくり

本命星が坤宮に入る時期は、冬を越えて大地を耕しはじめる時期とされます。派手さはないものの、先々に向けた土台づくりに向いているといわれます。今の役割に丁寧に取り組む、周りの人を支える、日々の習慣を整える、といった過ごし方がよいとされます。一方で、成果を急ぐと空回りしやすい面もあるようです。一歩ずつ進むことを大切にし、準備してきたことを少しずつ形にしていると安心です。

震宮：始まりと行動

本命星が震宮に入る時期は、春の雷が鳴り、芽が地上に出てくるように、物事が動き出す時期とされます。やる気が高まり、新しいことを始めたいくなる傾向があるといわれます。温めてきた計画に取りかかる、学んだことを発信してみる、といった前向きな動きに向いているかもしれません。一方で、勢いがつく分、言葉が先走ったり、準備不足のまま進めたりしやすい面もあるとされます。始める前に段取りを確かめることを意識すると安心です。

巽宮：縁と信頼が広がる

本命星が巽宮に入る時期は、草木が枝葉を伸ばすように、物事が整い、広がっていく時期とされます。人との縁が広がりやすく、これまでの取り組みに信頼が集まりやすいといわれます。人の紹介や遠方とのやり取りなど、つながりを大切にした動きに向いているかもしれません。一方で、話がまとまりかけた場面で迷いが出やすい面もあるようです。約束や連絡を丁寧にし、ひとつずつ整えていくことを心がけると安心です。

中宮：内側を整える時期

本命星が中宮に入る時期は、盤の真ん中で八方を囲まれる位置にあることから、年盤では「八方塞がり」と呼ばれます。何もしてはいけない時期ではなく、外へ大きく広げるより、内側を整えるのに向いた時期と考えられています。周りから注目されやすく、頼まれごとが増える傾向もあるとされます。これまでの歩みをふり返り、身の回りや考えを整理しておく、次の時期へ落ち着いて進みやすいかもしれません。新しいことは、準備を丁寧に進めておく程度が安心です。

乾宮：充実と責任

本命星が乾宮に入る時期は、活動が充実しやすい時期とされます。責任ある役目を任されたり、目上の人から期待をかけられたりすることが増える傾向があるといわれます。忙しさの中にも張り合いを感じやすく、これまで積み上げてきたことを発揮する場面もあるかもしれません。一方で、はりきりすぎて何でも引き受けたり、周りに厳しくなったりしやすい面もあるとされます。予定に余白を残し、任せられることは周りに任せる意識を持つと、落ち着いて過ごしやすいかもしれません。

兌宮：実りと楽しみ

本命星が兌宮に入る時期は、秋の実りにたとえられ、喜びや楽しみごとが増えやすい時期とされます。人との交流にぎやかになり、会話や集まりを通して新しい縁が生まれやすいといわれます。これまでの努力をねぎらい、趣味や楽しい時間を味わうのに向いているかもしれません。一方で、気が緩みやすく、楽しさを優先して予定を詰めこみすぎることもあるようです。楽しむ時間とやるべきことのバランスを意識すると、心地よく過ごしやすいかもしれません。

艮宮：変わり目と見直し

本命星が艮宮に入る時期は、山が土地の境目となるように、物事の変わり目にあたる時期とされます。仕事や住まい、人との関わりなどで、見直しや切り替えの機会が訪れやすいといわれます。変化は、これまでを整理して次へ進むためのきっかけと考えるとよいかもしれません。一方で、迷いが出やすく、判断が揺れやすい面もあるとされます。大きな決めごととは急がず、情報を集めて落ち着いて選ぶこと、身近な人に相談することを心がけると安心です。

離宮：明るみと表現

本命星が離宮に入る時期は、太陽が高く昇るように、物事が明るみに出やすい時期とされます。これまでの取り組みが周りから見えやすくなり、注目や評価を受ける場面が増える傾向があるといわれます。自分の考えを表現したり、学んだことを発表したりするのに向いているかもしれません。一方で、良いことも課題もはっきり見えやすく、気持ちが高ぶりやすい面もあるとされます。落ち着きを大切にし、区切りをつけたいことは丁寧に区切ると、気持ちよく次へ進みやすいかもしれません。

判定の基準

判定の基準：標準

避けている凶殺：五黄殺・暗剣殺・本命殺・本命的殺・歳破・月破・年の八方塞がり

採用していない項目：月の八方塞がり・月命殺・月命的殺

土用：期間を外しています（辰・未・戌・丑の月は土用入りの前日まで）

気学は流派によって基準が異なります。本書は上記の基準で計算しています。

行き先の候補は 神戸市中央区 を出発地として選んでいます。

計算の方法

- 節入り・土用入りの日時は、太陽の位置（視黄経）から天文計算で求めています。国立天文台の暦要項（2018～2027年・280件）と照合し、すべて同じ日付になることを確認しています。
- 吉方取りの期間（窓）は、節入りの翌日から、次の節入りの前日まで（辰・未・戌・丑の月は土用入りの前日まで）としています。
- 方位は、ご自宅から地図に引いた方位線（メルカトル図法の直線）で判定しています。偏角（国土地理院 磁気図2010.0年値の近似式）を加えた磁北を基準に、十二支の方位（各30°）に分けています。
- 行き先の候補は、方位の境目から3°以上離れた場所だけを挙げています。

ご注意

- 行き先は候補の例です。実際に行く場所は、地図（あちこち方位など）で方位を確認してからお決めください。境目に近い場所は避けてください。
- 出発はご自宅からとされています。
- 宿泊や交通の手配は行っておりません。
- 節入りの日時は年ごとに前後します。本書の期間は天文計算によるものです。

本鑑定は九星気学にもとづく参考情報であり、結果や効果を保証するものではありません。医療・健康、投資・金銭、法律に関する判断の代わりにはなりませんので、それらは医師・専門家にご相談ください。

お預かりした生年月日・ご住所は本鑑定の作成にのみ使い、納品から30日で手元の記録を削除します。本書のご住所は町名までの表示です。